



心理検査・教材の貸出について



愛知教育大学附属特別支援学校

インクルーシブ教育推進センターでは、愛知県内の幼稚園・保育園・学校を対象に心理検査や教材の貸出を行っています。

1 本校が所有する心理検査用具・教材

検査名	対象年齢	特徴
WPPSI-Ⅲ (今後、購入予定)	2歳6カ月 ～ 7歳3カ月	<ul style="list-style-type: none"> 検査時間：40～70分 5歳～7歳3カ月の子どもには、その子どもの認知能力や背景情報に応じてWPPSI-ⅢかWISC-Ⅳを選ぶことができる。 認知能力が平均を下回る疑いのある子ども、日本語の習得が十分でない子ども、言語障害のある子どもなどには、適切な臨床的判断のもとWPPSI-Ⅲを実施することが推奨されている。
WISC-Ⅳ	5歳 ～ 16歳11カ月	<ul style="list-style-type: none"> 検査時間：60～90分 全15の下位検査（基本検査10、補助検査5）で構成。全検査IQ、言語理解指標、知覚推理指標、ワーキングメモリー指標、処理速度指標が算出される。
WAIS-Ⅳ	16歳 ～ 90歳11カ月	<ul style="list-style-type: none"> 検査時間：60～90分 10の基本検査と、5の補助検査で構成。言語理解指標（VCI）、知覚推理指標（PRI）、ワーキングメモリー指標（WMI）、処理速度指標（PSI）の5つの合成得点を算出される。
田中ビネー知能検査V	2歳～成人	<ul style="list-style-type: none"> 検査時間：30分～1時間程度 年齢尺度から構成されているので、できなかった問題、あるいはできた問題の年齢的な基準が示される。各問題が実生活に即した内容であるから、具体的にどのような学習をしたらよいのか示唆してくれる。
新版K式発達検査	生後100日頃 ～ 成人	<ul style="list-style-type: none"> 検査時間：15～60分程度 その子どもがとる行動や反応を同年齢と比較して、発達の度合いが実際の年齢よりどのくらい差があるかを評価する。 姿勢・運動、認知・適応、言語・社会の3領域で評価。
PEP-R	2歳～12歳	<ul style="list-style-type: none"> 自閉症・発達障害児のための検査。 合格（2点）、不合格（0点）、芽生えの反応（1点）の判定をすることで、臨床的に生きた手がかりを得ることができる。 模倣、知覚、運動機能、認知機能など発達上重要な側面を的確にとらえることができる。
グッドイナフ人物画知能検査	3歳～ 8歳6カ月	<ul style="list-style-type: none"> 検査時間：5分 言語反応を必要としない検査。人物画を描く作業式知能検査。

認知・言語促進プログラム (NCプログラム)	6カ月～6歳	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚操作, 言語, 記銘, 文字, 数, 運動の6つの領域で評価する。 ・言語以外での代替コミュニケーション(シンボルやサイン)でも評価が可能。発達障害児のための指導プログラム。個別の指導計画作成の資料として最適。
遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表	0カ月～4歳8カ月	<ul style="list-style-type: none"> ・運動, 社会性, 言語の3分野から構成。観察や保護者からの聞き取りによって実施。 ・対象年齢は4歳8カ月までだが, これは通常発達の場合。発達に遅れのある場合には, 対象年齢を過ぎても使用することができる。
LC スケール	0歳～6歳	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期から学齢期前の言語・コミュニケーションレベルの発達を評価する。口頭で答える言語表出, 指さしなどで答える言語理解, ことばの使用の基礎となるコミュニケーションを評価する。
WAVES		<ul style="list-style-type: none"> ・視知覚, 目と手の協応, 眼球運動に対する検査とトレーニングができる教材。検査を実施し, 視覚スキルの弱い部分を見つかったら, 付属のドリルでビジョントレーニングを行うことができる。
多層指導モデル MIM 読みのアセスメント・ 指導パッケージ		<ul style="list-style-type: none"> ・文字の読み(特に特殊音節)についてのアセスメント教材。指導法や教材も入っているので, アセスメント後に教材を使って指導をすることができる。 (※特殊音節: 促音, 長音, 拗音)

※WPPSI-Ⅲ, WISC-Ⅳ, WAIS-Ⅳ, 田中ビネー式知能検査Ⅴについては, 臨床心理士等の心理検査に係る資格を有する方のみ検査を実施することができます。

2 貸出の方法

- ① 借用を希望される場合は, 特別支援教育コーディネーター(竹内)に電話でご一報ください。
- ② 本校のホームページから「心理検査借用書」をダウンロードし, 必要事項を記入してください。
※「心理検査借用書」は貸出の当日に持参してください。
- ③ 貸出日に来校していただき, 担当者から説明のうえ貸出を行います。
- ④ 返却日に来校してください。

※返却の際には, チェックリストを使用し, 検査器具等の確認をしてください。破損, 紛失の場合には実費を請求させていただくこともあります。